



# みなと

みなと 37号 2012年6月1日  
兵庫県声の図書赤十字奉仕団  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5  
日本赤十字社兵庫県支部内  
(Tel)078-241-9889 (fax)078-241-6990  
代表者 淡路 忠義  
編集者 久保田 加奈女

## 平成 24 年度声の図書赤十字奉仕団総会

平成 24 年度総会は、4 月 15 日（日）10 時より 7 階大会議室で開催されました。  
団員数 142 名、出席者 59 名、委任状提出 69 名（総会当日 10:00 受付報告数）  
支部より、竹中事業部長、角谷課長、岡崎係長、大宅主事のご出席をいただきました。  
司会は田辺 依子さん（ともしび）、議長に鈴木 光代さん（そよかぜ）を指名、23 年度の  
活動報告、収支決算報告、続いて 24 年度の活動計画と予算、そして規約の改正については  
活発な議論がなされた結果承認を得、無事総会を終了しました。

任期満了の役員、副委員長 志智 公子さん、書記 松本裕子さん、会計 池内 早苗さん  
の 3 名は退任され、今年度新役員に、副委員長 久保 麗子（あかりの会）、書記 久保田加奈女、  
会計 佐竹 洋子（そよかぜ）が承認されました。  
なお、一身上の都合により辞任された政 芙美子さんに代わり、総会後の役員会で淡路 忠義さん  
（あかりの会）が委員長に選任されましたことを、あわせてご報告いたします。  
任期を終えられた、志智公子さん、松本裕子さん、池内早苗さん、2 年間の活動に感謝いたします。  
また、1 年間ではありましたが、政芙美子さん、ありがとうございました。

### 24 年度本部役員

委員長	淡路 忠義	（あかりの会）	新任
副委員長	松村 陽子	（ともしび）	留任
副委員長	久保 麗子	（あかりの会）	新任
書記	久保田加奈女	（はあもにい）	新任
会計	佐竹 洋子	（そよかぜ）	新任
会計監査	信濃 静子	（ことばの花束）	留任

☆よろしく お願いいたします☆

総会終了後、6テーブルに分かれて座り、支部から竹中事業部長、角谷課長、岡崎係長、大宅主事も各テーブルに入っていただき、昼食を共にしました。昼食後、平成25年の50周年記念事業について話し合いました。40周年記念事業に携わった団員から当時の話を聞き、それをもとにたくさんのアイデアが出されました。

- ・ 50周年に向けて実行委員会を立ち上げ、今年度中に実行委員を選出する。
- ・ 40周年記念事業からの10年間の進展や変化を、年表にしてはどうか。
- ・ 40周年ほどの冊子ではなく（支部の費用負担軽減のため）、「みなと」のような薄いものにしてはどうか。（各グループの写真は記念になるので載せてほしい）
- ・ 冊子とCDを作り、リスナーさんにも配布してはどうか。
- ・ リスナーさんを招いて、朗読劇や作品の朗読等を、声奉全体で披露する。（各グループから数名が集まって、グループの枠を超えて出演する。）
- ・ 大がかりなイベントを開くのではなく、被災された方々に寄付する。
- ・ 学校講習に出かけている学校にも声をかけて出席してもらう。
- ・ リスナーさんへ全団員からの声をCDにしてプレゼントしてはどうか。
- ・ 「花時計記念号」を作ってはどうか。

その他

- ・ 50周年記念のワッペンを作り、残りの予算は寄付する。
- ・ グループによって人数にばらつきがあり、負担に差がある。50周年を期にグループの枠を超えて作業してはどうか。
- ・ 東北地方の目の不自由な方のために、何かお役に立てることはできないか。（支部に情報をもらう）
- ・ ホームページの充実を図り、団員獲得につなげる。

これらのご意見を参考にし、まずは50周年記念事業実行委員会を立ち上げることになり、各グループから1～2名の実行委員の選出を、お願いしました。団員の皆様のご協力を、お願いします。

## 前役員のこと

皆さんに感謝

2年前、これが最後のご奉仕と悲壮感漂う決意をして役員になったが、会合を重ねるうちに自分は勘違い女であったと知った。

肩の力を抜いて、たんとんと仕事をこなされる委員の皆さんを見て、自分の浅慮を恥じた。

何とか任期を終えることが出来たのは、偏に大勢の皆さんのご協力の賜物である。今年の花見は慌しい中楽しむことが出来た。

桜が散るときには、次の花芽が生まれているとか・・・ 声の図書奉仕団員は桜の花芽に似ていると思った。

青年 志智 公子

長かった？それとも短かった？2年間 お役目を終わってみると、さて どっちだったんだと・・・ てきばき有能な役員の方々に助けられて、どうやら無事に終わりました。

在職は結構長いのに、よく知らなかった声奉の仕組みなど少し理解できる機会を頂けたことは、有意義でした。

影になり日向になり、奉仕活動を一生懸命されている団員の姿は素晴らしいと思います。

色々な方と接する事も出来て、いい刺激になりました。さあ～ わたしも頂いたお力を無駄にしないように・・・と。楽しかったです。ありがとうございました。

神戸YWCA 松本 裕子

2年前、不安でいっぱいのスタートでしたが、何とかゴールに辿りつけられたのは、貴重な助言を頂戴した支部の皆さま、ご協力くださいました団員の皆さま、助け補ってくださった役員の皆さまのお蔭です。心よりお礼申し上げます。

会計の仕事は、今までの会計の方々がきちんと形を作り上げてくださっていましたので、スムーズに進めることが出来ました。ただ、購入の決断が遅れご迷惑をおかけしたことがあり、申し訳なく思っています。自分の未熟さと向き合う2年間でしたが、グループを越えてたくさんの方々とお知り合いになり、役員の方々と親しくさせていただき、凝縮された貴重な2年間を過ごさせていただきました。

在任中、団員の皆さまが実に熱心に活動されておられることを、改めて実感いたしました。これからも様々な問題は起きるでしょうが、皆さまの熱意できっと良い方向へ進むことと信じています。来年は、50周年を迎える声奉のさらなる発展を念じながら、退任の挨拶とさせていただきます。有難うございました。

こすもす 池内 早苗

## 新役員のひとこと

この度、前委員長の退任のため、役員会より要請を受け代行をさせていただくことになりましたあかりの会の淡路と申します。

団員の皆様方にはテープ・CD・点字図書作成それらに伴う技術向上の為の研修会、及び支部よりの依頼で学校講習・日赤行事参加とグループの垣根を越えた活動に大変感動致しております。これからも互いに協力し合い更なる躍進を目指しましょう。

来年度は声の図書奉仕団の設立50周年を迎えるそうです。皆様のお知恵を結集して有意義な会の開催を検討しましょう。

これから起こるであろうと言われている、東海・東南海・南海地震についても考えなければならないことが沢山あります。私たち個人々が防災意識を高め、災害に備え可能な限りの対策を考える必要があると思います。そのためには先ず、支部の開催する防災ボランティア研修会等に積極的に参加して勉強しましょう。過去に研修を受けられた方も復習の為に参加されてはいかがでしょうか。

“備えあれば憂いなし”

突然の依頼を受け戸惑っております。支部の皆様方、団員の皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りながら務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

あかりの会 淡路 忠義

みなさま、こんにちは。あかりの会の久保麗子です。

この度副委員長を務めることになりました。三択により、会計も書記も無理。副委員長は二人制なので、一年間は見習いさせていただこうという不純な動機です。

私は朗読ボランティアの認識で日赤声の奉仕団員としては十分な活動をしていませんので何かと勉強不足です。それにアナログ人間ですし、あふれるファイトも若さも知恵もありません。

今はただ困っています。“できるかなあ！”ってね。

でも、ここはまぶしいくらい志の深い方が大勢いらっしゃるので、みなさまのご協力を得ながら一緒に進んでいきたいと思っています。二年間どうぞよろしくお願いいたします。

あかりの会 久保 麗子

ボランティアルームに来ると、この広い部屋・充実した機器類と、本当に恵まれた環境で活動させていただけることを、いつもありがたく思います。

この度、会計という重責を担うこととなりました。助成金も私たちの活動の大きな礎。多くの方々の善意を使わせていただく為、皆様のご協力の下、2年間しっかりと務めたいと思っております。

よろしく願いいたします。

そよかぜグループ 佐竹 洋子

デイジーや点字の作業で日赤に行く度に他のグループの方とお話する機会が増え、とてもうれしく思っております。いつまでも新人気分でおりましたが、この度書記をさせていただくことになりました。というわけで、2年後には、エキスパートになっていることを夢見て、現在パソコンと格闘中?!です。役員の皆様、団員の皆様のご協力のもと邁進してまいります。よろしく願いいたします。

はあもにい 久保田加奈女

## デイジー班だより

デイジー班の活動は、スタートしてから今年で5年目を迎えました。

リスナーさんのご利用は、2008年6月の27名から2012年5月現在で181名の登録となりました。

月刊「日赤声のアルバム」161部と単行図書CD92作品を聴いていただいています。

☆ 今年度のデイジー班の目標としては、全ての月刊・季刊図書のマザーをデジタル制作することです。そのデジタル・マザーからテープ版とCD版を作成します。既にこの方法で、PHPは2月号から作っています。朗読も音楽とのミキシングも全てPCでの作業です。ここから徐々に完全デジタル作成へと移行して行ければと考えています。しかし、決して急ぐものでもなく、各グループ・各図書の状況に応じて進めて頂ければ良いと思います。

また単行本についても、先ずデジタル作成してCDを発行し、その後要望が有ればテープ版を作成するシステムに昨年来なっています。

☆ 最近気になることとして、**録音ブース内やルーム内のパソコン、その他の機材類の扱いが粗くなっている**ことです。使用法もそうですが、作業後の整理も非常に気になります。元来パーソナルな使い方をするはずの機械を、大勢の人が次々に使うので無理からぬところもあるのですが、だからこそ、**取り扱いには十分注意を払って丁寧に扱って頂きたい**と思います。

☆ 中高年層が圧倒的に多い団員の皆さんが、パソコンで新たなデジタル録音や編集等の技術を習得することは、チャレンジ精神が無ければ出来ることではありません。「朗読を続けたい」「活動を続けたい」という強い気持ちが原動力なのだと思います。その皆さんの協力があって、デジタル化はここまで進めて来られたと感謝しています。お1人でPCでの録音・編集に習熟して頂くことも大切です。それにはグループのデイジー班メンバーに協力して貰いながら、しっかり身につけて行って下さい。

これからは、更に一層皆さんに関わって頂き、より楽しい、より音が良くて聞き易い図書を目指しましょう！

以上、この日赤声の図書の大変革期を乗り越えるべく、様々な新たな課題に対し考え、挑戦しつつ前向きに少しずつ進めて行きます。

団員の皆様には、CD発送日にお手伝いして頂く等、これまで以上のご協力を仰がねばならなくなると思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

'12.5.16. 直田花子



## 点字班

『点字と私』

点字は見えない人、見えにくい人がさわって読む字です。

しかし視覚障害者は指で読めるようになるには、5年以上の訓練が必要だそうです。

視覚障害者の中で点字を指で読める方は全体の数%ほどらしい。それほど指で読むことは難しいことだとか。しかし正眼者は目で点を読むことなので、数十分もあれば出来るようになると思います。その点字に私が興味を持ったのは今から10年余り前になります。

朗読がなかなか上達しないからだちをいつも抱え自信喪失に陥っていた時、テープに点字ラベルを打つ作業を習い、これなら私でも簡単に出来るのではと思い込んだのが始まりでした。

しかし、そんな甘いものではありませんでした。当たり前のことですが「打つ」と「読む」のは点が真反対となります。点を見ているだけで頭の中がこんがらがって、なにがなんだか分からなくなってしまいます。さらに「分かち書き」など、ややこしい決まりなどがありなかなか覚えきれません。

短気な私は「もう、やめた」とすぐに投げ出してしまいました。

難しいことは苦手で避ける性格ですからいつまでたっても身につけません。

いまだに片手に点字表を持ちながらでなければ、読むことも、打つことも出来ない始末、情けないです。ところが、私の周りの若い人たちは習い始めて一年も経たないうちに「打つ、読む」ことを覚えてしまって、さらにそれらの作業の早いのに驚いてしまいました。取り組む姿勢は私とは大きな違いがあるのでしょう、加えて若さと情熱で練習に練習を重ねられた結果なのでしょう。

その若い人達の姿が私のやる気を刺激してくれました。継続の力を信じて再度挑戦を始めようと思います。

ことばの花束 本川 勝子



## 日赤声奉の朗読・音訳を見直す会

2010年11月にこの見直す会が発足し、今年で2年目を迎えようとしています。

声の図書奉仕団の朗読・音訳が、日赤のリスナーさんに聴きやすく、心地よい音声でいるか・・・、もう一度初心に立ち返ろうと「見直し」が始まりました。

「PHP 誌」の二次校正「子どもたちへのメッセージ集」の校正、「朗読勉強会 第1回、第2回」の開催を通じて問題として見えてきたことや、見直さなければならないことを、メンバー皆で考え調べて、対応策の検討を続けています。

これまで決めた事などは「みなと」に、「朗読・音訳を見直す会だより 第1回、第2回」として掲載しましたので、ご覧いただき、活用していただいていることと思います。加えて思うところは、それぞれの朗読・音訳がより良いものになるためには、体の力を抜く・口の体操をする（滑舌・無声化・長音化等）・黙読を数回する・文章が伝わる読みをする（自分の息づかいではなく、文章の息づかい）・誰に伝えているのかを意識する（聴き手に寄り添う気持ち）等です。

そして、朗読・音訳すること自体に喜びを感じる事が何よりも大切・・・と思います。

声の図書奉仕団員が、共により良い朗読・音訳が出来るよう、朗読の校正や「朗読勉強会」を今年度も引き続き行ない、最終目的の「日赤声奉の朗読・音訳ガイドライン（仮題）」の作成を進め、早期に完成させて皆様に提供したいと思っています。

日赤のリスナーさんに喜んで聴いていただけるものを、日赤声の図書奉仕団全員で制作していきましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

三木 京子



日赤声奉の朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳に必要と思われることを、発信していきたいと思います。今回は、前回に引き続き、数字の読み方についてです。

第3回 **数字の読み方(Ⅱ)**

(1) 声奉では、「4」「7」は、原則として[ヨン]「ナナ」と発音する。ただし、慣用表現、熟語、固有名詞等で、固有の読みが決まっている場合は、それに従う。

〈例〉四十肩[シジューカタ]、四十八手(相撲など)[シジューハッテ]、二十四節気[ニジューシセツキ]

七変化[シチヘンゲ]、七十五日(人のうわさも～)[シチジューゴニチ]等

(2) 「9」は、固有の読み以外は、[キュウ]と発音しても[ク]と発音してもよい。例えば1999年の場合、[クネン]でも[キュウネン]でもよい。

(3) 概数

各数字の発音は、前回お知らせした「基準となる発音」に従う。ただし、「4」「7」「9」は、[シ][シチ][ク]と発音する。

〈例〉3～4[サンシ]、16～7[ジューロクシチ]、80～90[ハックジュー]

(4) 気温・体温

36度5分(36.5℃)[サンジューロクド・ゴブ]。気温・体温の場合は[サンジューロク・テン・ゴド]とは言わない。

(5) 同位元素の質量数

数字は原則として全体を一つの数字として読む。

〈例〉プルトニウム239[ニヒャクサンジューキュー]または[～サンジューク]

※一つの語句に、発音、アクセントが複数ある場合、同作品の中では統一するようにしてください。

---

＜参考文献＞

・数字の発音 : NHK放送文化研究所編「NHKことばのハンドブック第2版」(声奉蔵書にあります)

・数字のアクセント : NHK放送文化研究所編「NHK日本語発音アクセント辞典」

(資料集・解説 P223～226)

三省堂「新明解日本語アクセント辞典」

(アクセント習得法則 P37～49)

## 平成23年度 単行図書貸し出しランク表

2011.4.1～2012.3.31 於

	書名	著者名	貸し出し開始日	貸し出し回数
1	さくら色オカンの嫁入り	咲野 月音	2010.04	16
2	阪急電車	有川 浩	2010.12	13
3	ゲゲゲの女房	武良 布枝	2010.09	9
3	八つ花ごよみ	山本 一力	2011.06	9
4	カシオペアの丘で 上巻	重松 清	2010.06	8
4	悪人	吉田 修一	2011.06	8
5	センチメンタル急行 あの日に帰る	池田 晴海、谷口 雅美他	2011.06	7
5	見えなくても・・・私 盲導犬とともに歩いて	郡司 ななえ	2010.04	7
6	ええもんひとつ とびきり屋見立て帖	山本 兼一	2011.02	6
6	人情時代小説傑作選 親不孝長屋	池波正太郎、山本周五郎 他	2009.09	6
6	くじけないで	柴田 トヨ	2010.09	6
6	見はてぬ夢を	山本 優子	2005.09	6
7	老いの才覚	曾野 綾子	2011.08	5
7	カシオペアの丘で 下巻	重松 清	2010.06	5
7	金子みすず童謡集 わたしと小鳥とすずと	金子 みすず	2011.07	5
7	親鸞 (上)	五木 寛之	2011.11	5
7	日暮れ竹河岸	藤沢 周平	2010.01	5
7	ちっちなかみさん	平岩 弓枝	2009.08	5
7	病院で使う言葉がわかる本	和田 ちひろ	2011.08	5
8	生きる勇氣 死ぬ勇氣	五木 寛之、帯津 良一	2010.12	4
8	風に舞い上がるビニールシート	森 絵都	2006.01	4
8	月島慕情	浅田 次郎	2011.06	4
8	落語と私	桂 米朝	2009.06	4

※昨年に続き、年間貸し出し状況をお知らせいたします。残念なことに今年度は単行図書の貸し出し冊数が減っていますが、今後もより多くのリスナーに楽しんで聞いていただけるよう、録音図書の制作を  
 単行図書検討会 中原 昌代  
 よろしく願いいたします。



# 花時計

牧野 まりえさん（花時計2月号 あかりの会）  
 いつも盛り沢山の話題を選んでいただき、  
 ありがとうございます。  
 今回は、なかでも岩手県の障害者ケアホームの  
 さとうけいこさんの「海をうらまない」と神奈川県  
 くさのりえこさんの「電話」、感動しました。  
 言葉ひとつひとつにその深みと清らかさと勇気、輝きを  
 感じ震えました。朗読して下さった方の読み方にも、  
 心を打たれました。今回の花時計は、いつも以上に  
 どの内容も音楽も感激です。上原けいこさん、  
 ありがとうございます。

パンフルートの音色が、いい  
 ですね。全曲聴きたいので、  
 よろしくをお願いします。

竹田かずこさん（花時計3月号 ともしび）  
 松本 民雄さん（花時計4月号 ことばの花束）  
 いつも楽しい情報をお聴かせいただきまして  
 ありがとうございます。ラーメン博物館へ  
 行かれたそうですね。そこは、誰でも見学に  
 行ける場所ですか。私たち視覚障害者が  
 行っても触らせていただける物があるでしょうか。

ワシントンの桜の話は、いいですね。  
 シャンソンも、とてもいい歌ですね。ラーメンの話、  
 以前にドラマで知りました。すごい発明ですね。美味しい  
 ですもの。いつも、いろいろな話題が楽しいです。

鈴木 美智子さん（花時計4月号 ことばの花束）

- 花時計 5月号 「はあもにい」
- ① オリンピックイヤーにちなんで
  - ② 谷川俊太郎の詩2篇
  - ③ タワーあれこれ
  - ④ ベトナムとカンボジアを旅して
  - ⑤ 新しいデイジー図書のご案内
  - ⑥ お便り

## 2012年度担当月

- 7月号・・・こすもす
- 8月号・・・あかりの会
- 9月号・・・ともしび
- 10月号・・・ことばの花束
- 11月号・・・はあもにい
- 12月号・・・神戸YWCA

- 花時計 6月号 「神戸YWCA」
- ① 西宮酒蔵の街を訪ねて
  - ② 「みんなの歌」半世紀
  - ③ 宮島・厳島神社を訪ねて
  - ④ 嚙下障害とつきあって
  - ⑤ デイジー単行図書のご案内
  - ⑥ リスナーのお便りコーナー

